

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-50336

(P2011-50336A)

(43) 公開日 平成23年3月17日(2011.3.17)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
C 1 2 N 9/04 (2006.01)	C 1 2 N 9/04 Z	4 B 0 5 0
C 1 2 Q 1/32 (2006.01)	C 1 2 Q 1/32	4 B 0 6 3

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2009-203355 (P2009-203355)	(71) 出願人	599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市北区理大町 1 - 1
(22) 出願日	平成21年9月3日 (2009. 9. 3)	(74) 代理人	100088904 弁理士 庄司 隆
		(74) 代理人	100124453 弁理士 資延 由利子
		(74) 代理人	100135208 弁理士 大杉 卓也
		(74) 代理人	100152319 弁理士 曾我 亜紀
		(74) 代理人	100163544 弁理士 平田 緑

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 D-マンデル酸誘導体脱水素酵素

(57) 【要約】

【課題】本発明は、D-マンデル酸誘導体に対して特異的に作用する新規酵素を提供することを課題とする。さらには、本発明は当該新規酵素を用いたD-マンデル酸誘導体の簡易測定方法を提供することを課題とする。

【解決手段】D-マンデル酸誘導体資化性菌より分離される、D-マンデル酸誘導体の脱水素酵素による。さらには、本発明の脱水素酵素と検体を混合し、触媒反応により発せられるシグナル、例えば還元化補酵素や触媒反応により発せられる電流を検出することによりD-マンデル酸誘導体を測定することができる。

【選択図】 図3

